

令和8年産

大崎稲作情報 第7号

令和8年8月21日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL: 0229-91-0726 FAX: 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今回のポイント

○収量・品質向上のため、落水時期は出穂後30日を目安としましょう。

○適期刈取りと適正な乾燥調製に努めましょう。

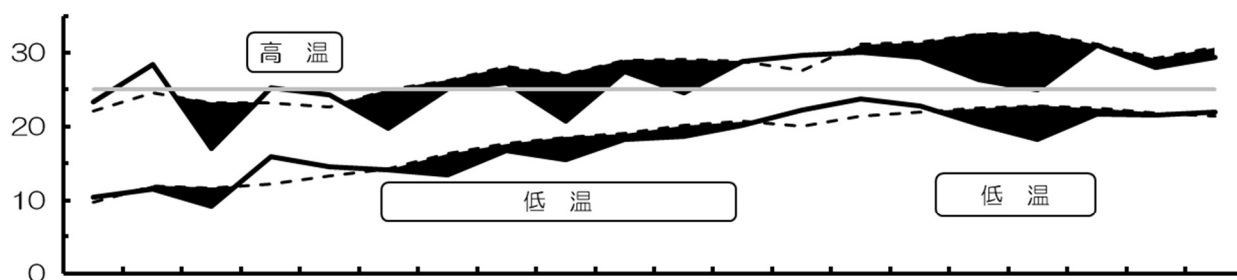
○収穫用機械・乾燥調製施設等の点検・整備は、早めに行いましょう。

1 気象経過と生育概況

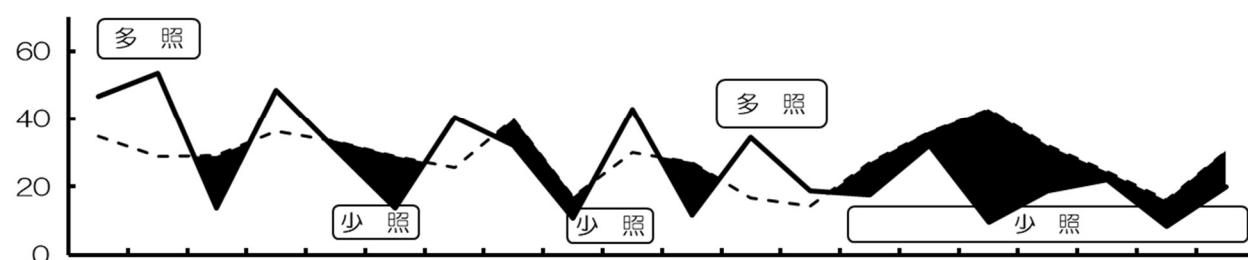
(1) 気象経過（前5か年間平均値との比較）

前5か年と比べると気温は低く推移しています。8月に入り概ね平年並となり、平均気温は25℃を超えています。日照時間は、7月第5半旬以降寡照で推移しており、特に7月第5半旬から8月第1半旬は平年を大きく下回りました。7月第5半旬から8月第1半旬には平年を上回る降雨があり、その後も断続的に降雨が続いています。

最高・最低気温（℃）



日照時間（時間）



降水量（mm）

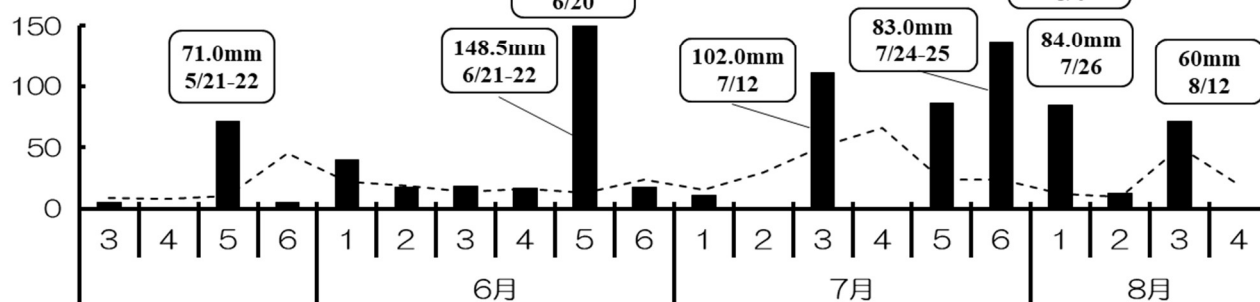


図1 5月第3半旬～8月第4半旬の気象（古川）※前5か年平均値（点線）との比較。

(2) 出穂期

管内の出穂期は8月3日で平年より5日遅くなりました。

表1 管内の出穂状況

地域	出穂始期	出穂期	穂揃期
管内全体	7月26日	8月3日	8月8日
	1日早い	5日遅い	3日遅い
山間高冷	8月2日	8月6日	8月12日
西部丘陵	7月27日	8月4日	8月9日
北部平坦	7月26日	8月1日	8月5日

※ 出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日

※ 平年差は前5か年（令和3～7年）との比較

(3) 生育概況

生育調査ほの出穂期は、全地点で平年より遅くなりました。

穂揃期の葉色は、どちらの品種も平年より濃くなりました。

乾田直播ササニシキの出穂期は、前年より遅くなりました。また、移植栽培よりも出穂期が11～13日程度遅くなりました。

一部のほ場での穂揃期の葉色は、前年の乾田直播や本年の移植栽培よりも低くなりました。

表2 生育ステージ及び穂揃期葉色調査結果

栽培様式	品種名	地区名	前作	田植日 播種日 (平年・前年差)	幼穂形成始期 月/日 (前年・平年差)	減数分裂期 月/日 (前年・平年差)	出穂期 月/日 (前年・平年差)	穂揃期	
								月/日 (前年・平年差)	葉色 GM (前年・平年差)
移植	ひとめぼれ	大崎市三本木	水稻	5/5 (+1)	7/5 (+2)	7/15 (+1)	7/31 (+3)	8/3 (+5)	33.8 (+2.8)
	ササニシキ	大崎市古川	水稻	5/10 (+3)	7/9 (+2)	7/18 (0)	7/31 (+1)	8/4 (+6)	35.4 (+0.4)
	平均			5/7 (+2)	7/7 (+2)	7/16 (+1)	7/31 (+2)	8/3 (+6)	34.6 (+1.6)
乾田直播	ササニシキ	大崎市古川	水稻	4/8 (-20)	7/23 (+4)	8/2 (+4)	8/13 (+2)	8/17 (+6)	31.5 -5.3
		大崎市三本木	水稻	4/13	7/20	7/30	8/11	8/14	34.2
	平均			4/10	7/21	7/31	8/12	8/15	32.9

※田植日の+は遅いことを、-は早いことを示す。乾田直播はいずれもグレーンドリル鎮圧方式による。

※平年比・差は前5か年（令和3～7年）の平均値との比較。

※出穂期は、ほ場の全莖数40～50%が出穂した日。

※大崎市古川乾田直播は昨年度から計測したため、前年値との比較。大崎市三本木乾田直播は今年度から計測。乾田直播の平均は今年度のもの。

2 今後の管理

【水管理】

穂揃期以降は間断かん水にして、上位葉や根の活力を維持して登熟の促進に努めましょう。

登熟期の水分不足は、未熟粒の増加や千粒重の低下など、品質・収量を大きく低下させることから、落水時期は出穂後30日を目安としましょう。

【適期刈取】

①積算平均気温による判定

出穂期後の毎日の平均気温を積算して判定します。中生種（ひとめぼれ、ササニシキ）は1,000℃前後、山間地域の早生品種（やまのしずく等）は920℃前後が刈取適期の目安になります。極晩生のつや姫の刈取始期は1,000℃、終期は1,200℃、にじのきらめきの刈取始期は1,100℃、終期は1,200℃です。早く刈り過ぎると青未熟が多くなり、刈り遅れると着色米が発生します。刈取適期幅が狭いので注意しましょう。

今年は過去 5 か年と比べると気温は低いですが、8月上旬までに収穫したほ場では、940℃に到達する日数が短縮する可能性があります。

天候や平均気温の推移を見極めながら刈取りを行いましょう。

表3 積算気温等による刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数※
ひとめぼれ	940℃～1,100℃	40日～45日
まなむすめ 蔵の華	960℃～1,050℃	
ササニシキ	930℃～1,150℃	45日～50日
みやこがねもち	950℃～1,150℃	
だて正夢	1,020℃～1,060℃を目安に	50日前後
金のいぶき	1,050℃～1,150℃	50日～55日
つや姫	1,000℃～1,200℃	

※出穂後日数は平年における大まかな目安。高温年では短縮することに留意。

表4 出穂期後の積算平均気温到達日（8/21以降の気温が前5か年並での推移を想定）

地帯	積算気温	出穂期												備考
		7/26	7/28	7/30	8/1	8/3	8/5	8/7	8/9	8/11	8/13	8/15	8/17	
北部平坦	940℃	9/3	9/5	9/7	9/9	9/11	9/13	9/16	9/18	9/20	9/23	9/26	9/28	北部平坦 の出穂期 は8/1
	1000℃	9/6	9/8	9/9	9/11	9/14	9/16	9/18	9/21	9/24	9/26	9/29	10/1	
	1100℃	9/9	9/11	9/13	9/15	9/17	9/19	9/22	9/25	9/28	10/1	10/3	10/5	
	～940℃日数	39	39	39	39	39	39	40	40	40	41	42	42	
	出穂後 20日間 気温(℃)	本年	25.2	25.1	25.1	25.0	24.7	24.0	23.8	23.9	23.5	23.1	23.3	23.5
		前年	26.3	26.0	25.9	26.0	25.9	25.8	25.6	25.7	25.7	25.6	25.4	25.2
西部丘陵	940℃	9/5	9/7	9/9	9/11	9/13	9/14	9/17	9/19	9/21	9/24	9/26	9/29	西部丘陵 の出穂期 は8/4
	1000℃	9/8	9/10	9/12	9/14	9/15	9/17	9/20	9/22	9/25	9/27	9/30	10/2	
	1100℃	9/11	9/13	9/15	9/17	9/19	9/21	9/24	9/27	9/29	10/1	10/4	10/7	
	～940℃日数	41	41	41	41	41	40	41	41	41	42	42	43	
	出穂後 20日間 気温(℃)	本年	22.4	22.6	22.7	23.0	23.7	24.1	24.1	24.0	24.2	24.2	24.0	24.0
		前年	25.9	25.6	25.5	25.7	25.6	25.4	25.2	25.2	25.2	25.1	24.8	24.5

注1) 北部平坦は古川、西部丘陵は川渡のアメダスデータ使用。8/20までは令和8年の値、8/20以降は前5か年平均値。

注2) 出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日から積算平均気温が940、1000、1100℃を超えた日とした。

注3) 「～940℃日数」は出穂後の積算平均気温が940℃に到達するまでの日数。

注4) 「出穂後20日気温」は、出穂後20日間の日平均気温の平均値。26℃以上（太字部分）では白未熟粒の発生が増加する。

②籾の黄化程度による判定

コンバインによる刈取始期の判断は、ほ場全体を平均して籾の80～90%程度が成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変した時期です。

③籾水分による判定

稔実籾の平均水分を目安に、刈り取り始めが25%、刈り取り終期が21%となります。

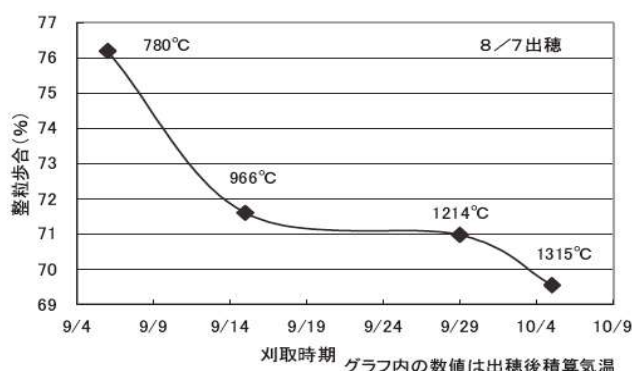


図2 刈取時期と整粒歩合の関係
(平22年古試「ひとめぼれ」)

【収穫・乾燥・調製】

①刈取作業

- コンバイン収穫では、籾水分が25%以下を目安に刈取作業を行いましょう。
- 複数の品種を刈り取る場合は、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ほ場内にクサネムやツユクサがあると、収穫時に種子が混入し、米選機では取り除くことが難しくなるので、収穫作業前に必ず抜き取りましょう。

②乾燥・調製

- コンバイン収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈り取り後、速やかに乾燥機に張り込み、送風循環しましょう。
- 倒伏した稲や未熟粒の多い稲などは高水分籾の混入が多いため、過乾燥となりやすく、胴割米の発生・砕粒の増加・光沢の低下など品質低下を招きます。高水分籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥*を行い、水分ムラや胴割米の発生などを抑えましょう。

※籾水分が18.0%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間送風循環後、仕上げ乾燥を行うこと。

- 仕上がり玄米水分14.5%～15.0%が目標です。
- 籾摺は、肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

令和8年度宮城県農林産物品評会（うるち玄米部門）が開催されます！
日時：令和8年11月11日（水）
場所：県庁1階ロビー

目指せ農林水産大臣賞受賞！是非とも出品をお待ちしています！
出品をご希望でしたら、下記連絡先をご参照の上、普及センターまでお知らせください。
普及センター職員が回収に伺います。
問い合わせ先 大崎農業改良普及センター
先進技術第一班 0229-91-0726（担当：羽場）

東北地方（太平洋側）1 か月予報
（8月22日から9月21日までの天候見通し）

令和8年8月20日
仙台管区气象台 発表※抜粋

＜予報のポイント＞

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、東北太平洋側では期間の前半はかなり高くなる見込みです。

＜予想される向こう1か月の天候＞

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気 温】	東北地方	10	10	80
【降 水 量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	30	40	30
＜気温経過の各階級の確率（％）＞		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	10	20	70

★★

古川農試に設置されている生育モニタリングほ場（「だて正夢」・「金のいぶき」・直播栽培）や県内全体の水稻生育情報はこちらからご覧いただけます。

＜<https://www.pref.miyagi.jp/site/seikuzyoho/index.html>＞

★★

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

